

自殺に傾いた人への電話相談支援 ～若者のこころの特徴と対応～

電話相談や相談窓口等で、さまざまな生きづらさを抱え、自殺に傾いた人と出会う機会がありますが、落ち着いて適切な対応をするには、知識や相談スキルを身につける必要があります。

本研修では、若者のこころの特徴を理解し、電話相談におけるリスクアセスメント、傾聴と共感等、相談支援の基本的コミュニケーション技法を学びます。

また、演習やロールプレイ等を通して、効果的な相談スキルを身に付け、日々の相談場面での対応力の向上をめざします。

日時

令和8年9月11日（金）10時～17時

場所

大阪府庁新別館北館 4階 多目的ホール
(大阪市中央区大手前3丁目1-43)

内容

○講義

- ・「聴くこと（傾聴）」とは
- ・電話相談と面接相談の違い
- ・若者のこころの特徴について
- ・基本的対応とリスクアセスメント
- ・援助（共感）的コミュニケーション技術

○演習

- ・反復
- ・声のトーン
- ・オープンクエスチョン
- ・クローズドクエスチョン
- ・反射
- ・明確化

○ロールプレイ

- ・リスクアセスメントの対応事例

○質疑応答



講師

関西福祉科学大学大学院 教授
関西福祉科学大学社会福祉学部 学部長 都村 尚子 氏

対象

- ①大阪府内(大阪市・堺市を除く)の保健所・保健センター、市町村の保健・福祉関係部署で、精神保健福祉業務を含む相談支援業務に従事する職員
- ②大阪府内(大阪市立・堺市立を除く)の高等学校、中等教育学校、支援学校、大学、専修・各種学校等教育機関の職員

申込み

下記ページ内の申込みフォームまたは二次元コードから申込みください。
こころのオアシス (<https://kokoro-osaka.jp/>)→研修→自殺対策研修→J-4

申込み締切:令和8年8月27日(木)17時まで

*定員になり次第、締切りとさせていただきます。

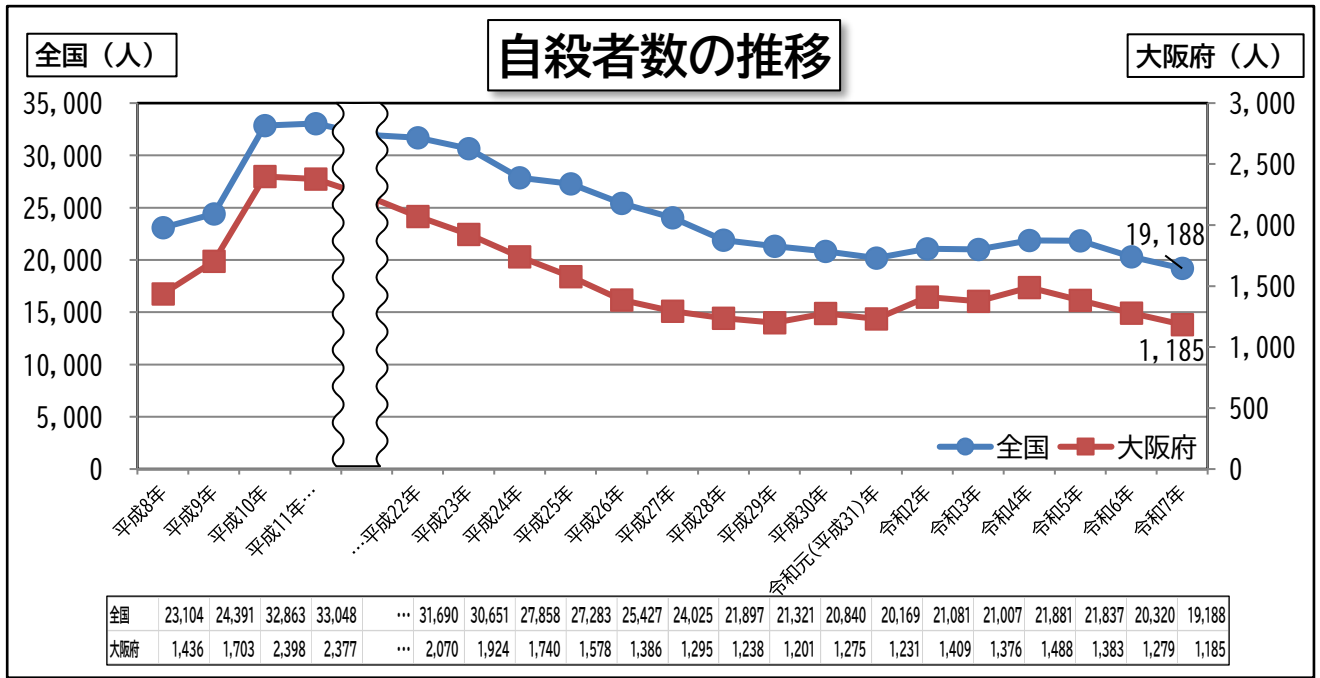
*申込み締切後に、当センターよりメールで「受講決定通知」を送付します。

*1機関より複数参加申込みのあった場合は人数調整をする場合があります。

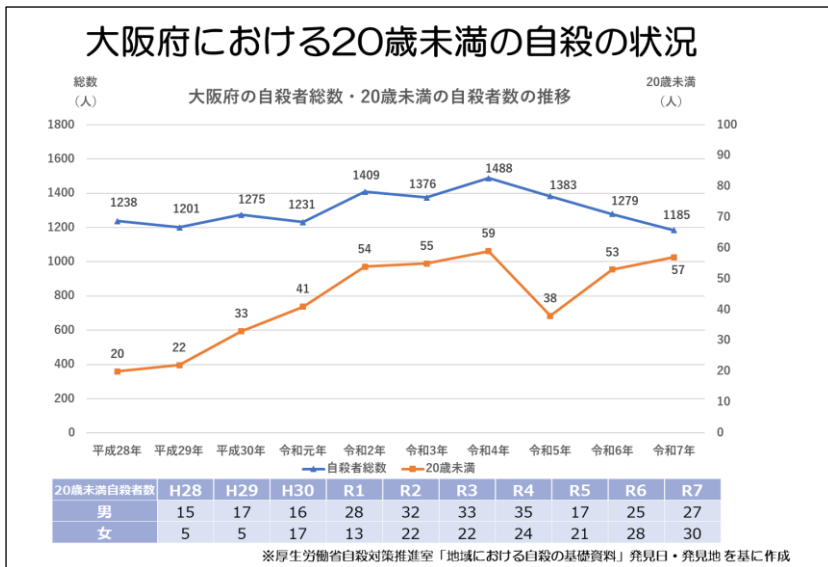


問合せ先

大阪府こころの健康総合センター 事業推進課 担当:伊澤・中川
電話 06-6691-2810 (課直通) FAX 06-6691-2814



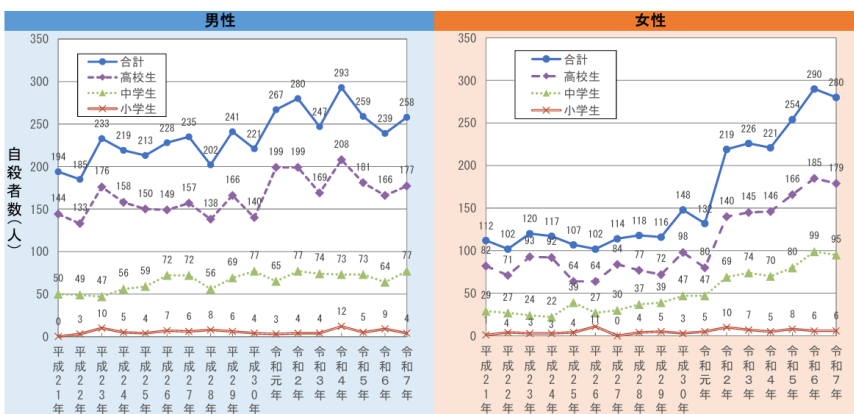
全国の自殺者数は令和2年に11年ぶりに増加した後、令和4年から再び減少傾向となっており、令和7年は19,188人でした。大阪府の自殺者数も同様、令和2年に増加し、令和4年から再び減少傾向となっていますが、令和7年は1,185人となり、1日に約3人の方が亡くなられている状況です。



大阪府の20歳未満の自殺者数は平成29年以降右肩上がりで、令和5年は38人と減少しましたが、令和7年は57人で増加傾向にあります。

若者の自殺は遺族や社会への影響が非常に大きいことから、若年層への対策は特に重要で、関係機関が連携し必要な取り組みをきめ細かに実施することが必要です。

全国の小中高生別、性別自殺者数の年次推移



令和7年全国の小中高生の自殺者数は538人で過去最多となりました。